

熊本地震支援活動報告

4月14日発震以来、最も被害の大きかった益城町に3回の先遣隊を送り被災状況を把握し、現地情報と併せて支援の方針を決定。益城町を中心に、支援活動を展開して参りました。具体的には、被災された方々の細やかなニーズにお応えする活動や、総合体育館避難所での足湯による癒しの活動、ゲームをしながら身体を動かしてもらう活動、そして、茶話会を開いてそこに西宮のお菓子をお持ちして様々なお話を伺うような活動もして参りました。また、被災地の子どもたちへのケアや、被災地周辺の大学に通う学生さんとの連携も始めています。



現地では、仮設住宅も建ち避難所からの入居も始まっています。今後は、仮設住宅での活動など被災地の状況の変化に応じた活動を行いたいと考えております。

●5月6日～5月8日

- ・訪問先：熊本市（熊本大学、熊本学園大学）※地元の大学との連携を模索
益城町（災害ボラセン、総合体育館、保健福祉センター、広安小学校）
西原村（災害ボラセン、親子カフェ）

- ・主な活動内容：熊本大学や熊本学園大学など地元の大学との連携模索、子育て関係施設の状況把握

●5月8日～9日 ※往復キャンピングカーで移動

- ・訪問先：益城町（災害ボラセン、総合体育館）

- ・主な活動内容：ボランティアのサブ拠点（キャンピングカー想定）を地元社協と相談
（※目的：地元社協をサポート、ボラセンでは拾い上げにくい、細かなニーズに対応、地元の大学、例えば、熊本大学、熊本県立大学、熊本学園大学、尚綱大学などの県内の大学生との連携を模索
中央小学校で農業支援について打ち合わせ（トマト、きゅうり、スイカの収穫）

●5月14日

- ・訪問先：益城町（災害ボラセン、総合体育館、個人宅訪問）
熊本市（災害ボラセンのサテライト）

- c o n t e n t s -

P 1 ~ 2	熊本地震支援活動報告
P 3	V I S I O N 1 1 7 / K S N プロジェクト
P 4	野田村ファンクラブのつどい / 佐用町訪問 / 子ども防災クラブ
P 5 ~ 6	NVNAD 通常総会報告
P 7	NVNAD 通常総会報告（続き） / 上甲子園防災マップ作成会
P 8	Nうごき / Nごよみ
P 9	Nごよみ（続き） / 会員・寄付者・募金者のみなさま
P 10	会員・寄付者・募金者のみなさま（続き） / 編集後記

- ・主な活動内容：個人宅で片付け支援、熊本市災害ボラセンのサテライト訪問(主に被害のひどい東区に団体ボランティア専用調整) ボランティアのサブ拠点設置場所の相談
- 5月21日～22日
 - ・訪問先：益城町（中央小学校、総合体育館、まち散策、広安小学校、保健福祉センター、災害ボラセン）
 - ・主な活動内容：避難所の状況確認(避難者の声を聞く)、足湯活動の相談ほか
- 5月28日～29日
 - ・訪問先：益城町（木山中学校、中央小学校、総合体育館、保健福祉センター）
西原村（災害ボラセン、親子カフェ）
 - ・主な活動内容：山口中学校と笑顔つなごう会の募金のコーディネート、子育て関係施設見学、次回活動の準備など
- 6月2日～5日
 - ・訪問先：益城町（総合体育館、中央小学校、保健福祉センター）
 - ・主な活動内容：避難所におけるニュースポーツゲーム「トリコロキューブ」、茶話会、足湯、子どもの遊び(プレーパーク)の実施
※熊本大学、熊本学園大学、尚綱大学などと連携してプログラムを実施した。
- 6月25日～26日
 - ・訪問先：益城町（広安西小学校の保育ルーム、保健福祉センター「くまカフェ」、杉堂地区）
 - ・主な活動内容：広安西小学校の楽器部の先生に浜脇中学校、岩手県野田村小学校の楽器部のことなどを伝える。益城町の子育て支援状況に関する情報収集。熊本学園大学の先生と仮設住宅状況について情報交換を行う。地滑りでひどい状況のあった杉堂地区を視察。
- 7月29日～31日
 - ・訪問先：益城町安永仮設団地集会所
 - ・主な活動内容：炊き出しおにぎり交流会
阪神・淡路大震災、中越沖地震、東日本大震災それぞれの被災地による炊き出しおにぎり交流会を実施。

今後も、中長期にわたり支援活動を実施していきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力よろしくお願いたします。

【熊本地震 募金受付口座】

* ゆうちょ銀行（郵便振替）

口座番号 00900 - 5 - 29560

名義 NVNAD国内支援口

* 三井住友銀行

西宮支店 普通 7022161

名義 NVNAD国内支援口

通信欄に「熊本地震」とご記入下さい。

なお、三井住友銀行に振り込んでくださる方は、カタカナの振込名しか把握できませんので、税制優遇を希望されます方は、ご一報くださるようお願い申し上げます。

お問い合わせ：日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD) 電話：0798 - 34 - 9011(事務局)



VISION 117

熊本地震の被災地では、暑い中、避難所や仮設住宅、そして在宅での不自由な生活が続いています。心よりお見舞い申し上げますとともに、この度、犠牲となられました皆さまのご冥福を改めてお祈り申し上げます。

私ども日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）は、熊本地震の発生直後から活動を展開して参りました。先日、ようやく1つの仮設住宅にて、じっくりと皆さまのお話を伺いながら交流する場を持つことができました。NVNADが開設している「なんでんかんでんボラセン」主催。そこに西宮からはいつもお世話になっているお菓子、新潟県刈羽村（2007年中越沖地震）からはお米、そして、岩手県野田村（2011年東日本大震災）からは、のだ塩・昆布・わかめを届けて頂き、野田村の方もお迎えしての被災地間交流となりました。熊本地震では、被災された方々に寄り添いながら交流していくスタイルの活動に入るまでに思いのほか、時間がかかってしまいましたが、今後は、月に2回程度の開催を目指して、息の長いお付き合いを続けていきたいと考えています。この場をお借りして、ご協力頂きました皆さまに、心よりお礼申し上げます。

熊本地震では、災害ボランティアセンターに駆

けつけたボランティアが、受け付けてもらえないといった事態が各地で生じました。被災された方々に対して、何かお役に立てればと思って、遠方から駆けつけた人たちが、いわば門前払いされる場面です。理由は、受け付けたニーズがないから。もちろん、被災地に、本当に何もニーズがないなら、遠くから駆けつけたボランティアも、「それならよかったね」と帰ることができます。ところが、緊急事態を何とか乗り越えた今、被災地では、ニーズは多様化し、さらに増えています。ニーズがあっても伝えにくい、ニーズがないかと尋ねられてもうまく言葉にできないといった方々を含めれば、ニーズは無数にあります。ニーズがないから、ボランティアに帰ってもらおうというのは、被災された方々のくらしよりも、災害ボランティアセンターという仕組みを重視してしまうという根本的な過ちではなかったでしょうか。

被災地には、他にもたくさんの問題が残っています。NVNADとしましては、被災された方々にじっくりと寄り添いながら、被災地に残る問題を見過ごさず、改善に向けて動いていきます。その際、目の前の被災された方々が少しでも楽になるように取り組むこと、そして、ご支援頂いております皆さまのお気持ちが届くように動くこと、この2点に変わりはありません。会員の皆さまには、どうか引き続き、NVNADの熊本地震支援活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。（理事長 渥美 公秀）

KSNプロジェクト 「学習会」

6月25日（土）14時から西宮市社会福祉協議会の施設をお借りして、KSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主体）主催の学習会を開催しました。子どもたちには学習用具を自宅からそれぞれ持参してもらい、大学生のリーダーに教えてもらいました。学習時間が終われば、ボールなどでの自由遊びや、牛乳パックとストローを使って竹トンボづくりなどを楽しみました。また、今回は夕食づくりも行うということで、全員が班に分かれてハヤシライスを作りました。この日はあいにく雨模様で外遊びは出来ませんでした。子どもたちは思い思いに楽しんで過ごしていた様子です。これからも定期的に関催していければと思います。



「キャンプ交流会」



7月27日（水）兵庫県三田市にある関西学院千刈キャンプ場に於いて「キャンプ交流イベント」を開催しました。西宮市に福島県などから県外避難されている親子連れ約30名にご参加いただき、ザリガニ釣りやバーベキュー、竹炭石けんづくりなどの活動を行いました。また、途中、保護者の方だけ集まっていたいただき、お茶を飲みながらお話会も開催しました。子どもたちにとっては、大学生のお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に、楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。（事務局）

第11回 野田村ファンクラブのつどい

5月19日（木）19時から関西学院大学梅田キャンパスの会議室をお借りして「第11回野田村ファンクラブのつどい」を開催しました。まず自己紹介から始まり、3月に野田村で活動を行った関西学院大学社会学部のボランティアバスと、大阪大学災害ボランティアサークルすずらんの民泊の活動の様子について、それぞれ報告がありました。後半では、2班に分かれて、7月に予定している合宿のプログラム案について話し合いました。ボランティアバスの運行は終了となりましたが、これからも野田村について情報交換をしていきたいと思っています。

「野田村ファンクラブ合宿」

7月2日（土）～3日（日）、西宮の鳴尾浜にある兵庫県立総合体育館にて、「野田村ファンクラブ」合宿を開催しました。今回の合宿の目的は、東日本大震災から5年が経過し「野田村ファンクラブ」のこれからの方向性や活動内容について話し合うことでした。2日の午後は参加者一人ひとりから、野田村に関わったきっかけや、野田村への想いをそれぞれ語っていただきました。夕食後は、野田村ファンクラブの方向性について2班に分かれて意見交換を行いました。時間が足りず、夕食後も夜遅くまで話し合いの時間をもちました。そして、翌3日は午前中に具体的な活動内容について意見交換を行いました。今後5年間を目標に、関西での活動をベースに、新たな活動を展開していければと思っています。

（事務局）



佐用町訪問

「高瀬舟まつり」



7月30日（土）～31日（日）兵庫県佐用町を訪問しました。佐用町久崎で恒例となった高瀬舟まつりが開催され、チチコ（ハゼの仲間）釣りに参加させていただいたり、夕方からは夜店のお手伝いをさせていただきました。今年は高瀬舟の体験乗船は時間的にできませんでしたが、このお祭りを通じて、久崎の皆様と交流を深めることができました。いつもあたたかく迎えて下さる久崎の皆様へ感謝感謝です。これからは、また竹炭焼きに備えて、竹の伐採などの作業を行っていければと思っています。（事務局）

第1回子ども防災クラブ

7月9日（土）、高木小学校で今年度の「子ども防災クラブ（Dクラブ）」がスタートしました。第1回目は事前説明会ということで、1年間の活動内容の説明や8月に実施するキャンプの説明などを行い、名前ビンゴゲームで参加者、保護者、大学生リーダー全員で交流を持ちました。これから1年間よろしくお願いいたします。（事務局）



第18回NVNAD通常総会報告

第18回NVNAD通常総会は、2016年6月18日（土）西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

・第17期（2015年度）事業報告（2015.4.1～2016.3.31）

第17期（2015年度）を振り返ってみると、災害救援においては、9月に発生した茨城県常総市での水害に対して、9月と10月に2回関西学院大学の学生2名と一緒に現地入りをした。1回目は被災状況の確認と家屋の荷物搬出のお手伝いを、2回目は1回目の作業をお手伝いしたご自宅の方に会いに避難所を訪問し、その避難所でハンドアロマを実施した。それ以外では、2009年8月水害の被災地（佐用町久崎地区）では、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）と共同でコミュニティカフェや竹炭焼きなどの活動を継続実施、2011年3月の東日本大震災の被災地（岩手県野田村）では、関西学院大学社会学部と共同でボランティアバスの運行、（福島県郡山市）では、地元のNPO法人ハートネットふくしまが実施している炊き出しお茶会の支援活動をサポート、また、地元西宮では、県外避難者を対象にした交流イベントをKSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催で交流イベント4回、学習支援イベント4回、合計8回開催した。そして、2014年8月の土砂災害の被災地（丹波市前山地区）では、復興イベントのお手伝いなどを行った。

平常時の活動においては、活動の3本柱である、①『防災まちづくり活動』としては、子ども防災クラブや親子でわがまち探検隊、あるいは、西宮市の受託事業として津門地区と浜脇地区で地域防災マップづくり事業や、今年度初めて「ペットと防災」というテーマでワークショップを阪急グループ会社と連携して実施した。②『講演・講座活動』としては、柏原市社会福祉協議会や伊勢市社会福祉協議会など継続した講座の依頼がある一方で、連合大阪や岬町社会福祉協議会などの大阪方面からの新規の講座依頼もあった。③『ネットワーク活動』としては、第20回チャリティカレンダー市を開催すると共に、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）や、おおさか災害支援ネットワーク会議などを通じて、兵庫県だけではなく、大阪府のNPOとのつながりを広げさせていただいた。その他、昨年度に続き、南海トラフ大地震の津波災害を想定した防災ふれあいウォークを武庫川女子大学にご協力いただき実施した。

（活動事業実績）

1. 災害に関する講演、講座事業 18回
2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 26回
3. ネットワーク事業 10回
4. 災害救援活動事業 34回
5. その他の活動 11回

・第17期（2015年度）決算並びに第18期予算

別表

・第18期（2016年度）事業計画（2016.4.1～2017.3.31）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、兵庫県佐用町、兵庫県丹波市、茨城県常総市での活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス（青森県八戸、青森県弘前、など）のネットワーク団体と情報交換しながら、これまでのボランティアバス運行にとらわれず、変化する被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたいと思っている。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントや学習・遊び支援などを行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、活動可能な範囲で対応していきたい。

平常時の活動については、防災まちづくり活動、講座・講演活動、ネットワーク活動に加えて、今期は阪神・淡路大震災から22周年を迎えるので、今後の災害に備えて、地元西宮で防災ふれあいウォークや災害ボランティアのつどい、などの自主イベントを企画し実施したいと考えている。また、認定NPO法人が取得できたので、寄付を集めるためのキャンペーンを実施し、財源の確保を積極的に働きかけ、安定した組織体制、特に活動や会計などを将来担ってもらえる人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

- ・東日本大震災の支援活動
活動内容：①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
- ・兵庫県佐用町水害の支援活動
- ・兵庫県丹波市土砂災害の支援活動
- ・茨城県常総市水害の支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

- ・子ども防災クラブ
- ・子ども森林体験ツアー など

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会 9月頃開催予定
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画(案)・・・収益(事業、会費、寄付など)を高めるために

- ・災害ボランティア養成講座（西宮市社会福祉協議会と共同開催）
- ・八百屋プロジェクト（被災地のお米や野菜などを西宮などで販売）
- ・防災イベントの企画・運営（「防災」と「健康」をテーマ）
- ・若手育成プロジェクト（次世代のリーダー育成）
- ・寄付募集キャンペーン（企業へのアプローチ）

など

5. 今年度末の災害救援準備金残高 500千円

(内規)

- (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。

(報告) 2015年9月10日 茨城県常総市水害緊急出動費用 130,830円
引当貯金取崩ししました。

・ 役員改選

- (1) 役員全員任期満了につき、改選の結果、次の者が役員に選任され就任しました。

理事	(再任) 渥美 公秀	大阪大学大学院教授
〃	(再任) 池田 直樹	弁護士(あすなる法律事務所)・関西学院大学教授
〃	(再任) 太田 博	㈱関西技術コンサルタント代表取締役
〃	(再任) 奥田 和子	甲南女子大学名誉教授
〃	(再任) 寺本 弘伸	常勤理事
〃	(再任) 檜垣 龍樹	尼崎市職員
〃	(再任) 山口 元	(社福)光朔会オリンピック理事長
〃	(再任) 矢守 克也	京都大学防災研究所教授
〃	(再任) 米山 清美	にしのみや遊び場つくり会代表
監事	(再任) 岩瀬 哲正	公認会計士(岩瀬会計事務所)
〃	(再任) 萩野 茂樹	三重県ボランティア連絡協議会副会長

■総会終了後、理事会において、次の通りそれぞれ役職に就任しました。

理事長	渥美 公秀
副理事長	檜垣 龍樹
常務理事	寺本 弘伸

(別表)

活動計算書 (第17期決算及び第18期予算)

「一般会計・特別会計(災害救援)」

(単位:円)

科目	第17期予算	第17期決算	第18期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	1,055,000	869,500	1,085,000
2. 受取寄付金	1,500,000	2,264,642	3,180,000
3. 受取助成金	1,500,000	1,498,695	1,400,000
4. 事業収益	7,980,000	7,320,115	5,419,000
5. その他収益	12,000	8,140	9,000
経常収益計	12,047,000	11,961,092	11,093,000
II. 経常費用			
1. 事業費	18,502,575	16,728,450	17,154,620
2. 管理費	1,120,745	943,312	820,700
経常費用計	19,623,320	17,671,762	17,975,320
税引前当期正味財産増減額	-7,576,320	-5,710,670	-6,882,320
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-7,658,320	-5,792,670	-6,964,320
前期繰越正味財産額	51,410,296	51,410,296	45,617,626
次期繰越正味財産合計	43,751,976	45,617,626	38,653,306

～上甲子園地区防災マップ作成会～

5月31日(火)上甲子園センターに於いて、「上甲子園地区防災マップ作成会」(災害図上訓練)が開催されました。

上甲子園地区の住民方々が多数参加されました。

上甲子園地区で最も危惧される「洪水災害」を想定災害(テーマ)に、災害図上訓練(DIG)を実施しました。

参加者がグループに分かれて、地図台を囲み地区の基礎情報を確認し、洪水により浸水が危惧される被害想定をもとに、地図にアイコンシールを貼りながら、避難所はどこになるのか、避難ルートはどこかなどを話し合いました。

各グループで意見を話し合い「防災マップに記載する情報」をまとめ、その内容を記入し、発表しました。災害図上訓練を通じて、防災に真剣に取り組み且つ楽しみながら地域の中で再点検し、防災意識の啓発につなげるため実施しました。

(事務局)



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

5月

- 14日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）
- 19日 野田村ファンクラブのつどい（西宮市）
- 20日 食セミナー（西宮市）
- 20日 熊本地震緊急報告会（大阪府：近畿労働金庫）
- 21日～22日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）【子ども関連】
- 28日 NVNAD会計監査（西宮市）
- 28日～29日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）【子ども関連】
- 31日 防災マップ作成会「上甲子園地区」（西宮市）
- 31日 野田村ファンクラブ打ち合わせ（大阪市）



6月

- 2日～5日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）【避難所ふれあい】
- 11日 チャコネット会合（西宮市）
- 12日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）【ひまわりプロジェクト】
- 18日 NVNAD通常総会（西宮市）
- 22日 熊本地震支援活動報告会 西宮市社会福祉協議会と共催（西宮市）
- 23日 柏原市災害ボランティアコーディネーター会熊本地震報告（大阪府）
- 25日 KSNプロジェクト学習会（西宮市）
- 25日～26日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）【今後の支援検討】
- 28日 枚方市社会福祉協議会打ち合わせ（大阪府）

7月

- 2日～3日 野田村ファンクラブ合宿（西宮 鳴尾浜）
- 9日 第1回子ども防災クラブ（西宮市）
- 14日 防災教育の実践「児童によるハザードマップ作成」JICA（神戸市）
- 16日 第1回災害ボランティア養成講座（西宮市）
- 27日 KSNプロジェクト「千刈キャンプ」（兵庫県三田市）
- 29日～31日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）
- 30日～31日 佐用町訪問（兵庫県）

8月

- 3日～4日 第2回子ども防災クラブ「西宮子どもキャンプ交流会」（兵庫県佐用町）
- 10～12日 野田村サテライトセミナー（岩手県）
- 14～15日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）
- 17日 ニュースNo.108発行

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月

- 20日 第2回災害ボランティア養成講座（西宮市）
- 29日～31日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）

9月

- 10日 第3回災害ボランティア養成講座（西宮市）
- 16日～19日 熊本地震支援活動（熊本県益城町など）
- 21日 武庫川女子大学防災イベント授業（西宮市）
- 27日 上甲子園地区防災マップ作成会（西宮市）
- 28日 武庫川女子大学防災イベント授業（西宮市）

10月	
15日	第10期津市民防災大学 第2回講義(三重県)
15日	平木小学校防災キャンプ(西宮市)
22日	第3回子ども防災クラブ(西宮市)
22日~23日	田尻町防災キャンプ(大阪府)
29日	西宮子ども森林体験ツアー(篠山市)
11月	
13日	防災ふれあいウォーク(西宮市)
17日	ニュース .109発行



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■継続会員のみなさま(2016年2月1日～2016年7月31日)

個人正会員:「継続」三好紀昭、齊藤秀子、北村英夫、米谷収、舟知正、桐山裕文、大井英臣、松野博、二宮英夫、新野幸次郎、萩野茂樹、森川博雄、池田直樹、三浪富士子、魚島侑子、片岡幸壺、谷原和憲、矢守克也、矢守恭代、南義彦、林幹高、堀川ふじ子、梶昌代、松本清子、田中正秀、田中みどり、山口元、岩瀬哲正、西川達夫、中村有美、ハツ塚としえ、萩原迪子、鶴田芳樹、鈴木勇、平木祐治、花岡豊、米山清美、平川りつ子、鈴木茂広、渥美公秀、渥美直子、池田直樹、檜垣龍樹

個人賛助会員:「新規」藤ヶ谷壽一、朝井朋子、加藤謙介、御内真理

個人賛助会員:「継続」金井佐稚子、秋山洋子、中川純子、谷淵啓子、池田秀樹、石井保江、忽那須美男、赤対泰、赤対美千代、山田明子、渡辺保、渡辺鶴子、石川智子、吉岡啓次、原田陽子、大里恵子、前内安一、平井芳明、金井絢子、中垣伸、中島久美子、谷孝大、志賀理恵、石川たか子、小林良彦・静子、玉巻真由美、竹下養子、渡辺由子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、荒銀昌治、荒銀和子、葉千鶴子、高橋聰子、島和子、上野由紀子、山田和子、葉田野玲、渡辺清武、菅野秀徳、菅野好恵、渥美久栄、藤森町子、宮城久代、小栗優子、滝沢正彦、廣瀬輝男、三浪治子、鈴木憲一、田中恵子、堂野喜美子、森永壽、今井曜子、小島あつみ、渥美樹里、渥美杏奈、武田育子

法人正会員:「継続」日本労働組合総連合会大阪府連合会、株式会社関西技術コンサルタント

法人賛助会員:「新規」株式会社笑顔の食卓

法人賛助会員:「継続」株式会社京佐興産

団体正会員:「継続」宗教法人真如苑、社会福祉法人光朔会オリンピック、にしのみや遊び場つくり会、阪神NPO連絡協議会

■寄付者のみなさま(2016年2月1日～2016年7月31日)

「一般」:近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、シルバー人材センター、忽那須美男、山田明子、渡辺保、渡辺鶴子、新野幸次郎、吉岡啓次、池田直樹、掛水須美枝、西川達夫、渥美久栄、魚島侑子、小林良彦・静子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、高井宏子、宮城久代、平井芳明、マツナガセイコ、クボテラカズナオ、乾美紀、松田哲裕、トサミチコ、イソノツネコ、三浪治子、鶴田芳樹、鈴木勇、小柴裕子、高井千珠、深山操江、檜垣龍樹、サカモトシゲト、シマダアキラ、ヤスヒラサチコ、ハマバタキクヨ、太田邦生・幸子、渡邊一正、ソフトバンクかざして募金(寄付者)の皆様

■募金者のみなさま(2016年2月1日～2016年7月31日)

「東日本大震災」松崎恵子、グッドスナカヤマヨシ、宗教法人真如苑、今井千郎、大江良一、フルツカ、尼崎武庫支所カレンダー市にご来場の皆様、山岸春治、ふぁんきい☆かんぱに一御内真理、小椋康成

「関東・東北豪雨災害(常総市)」林誠一、宗教法人真如苑

「平成28年熊本地震」青木孝文、小椋康成、澤村知子、長谷川雅章、和田花枝、吉村裕子、成川信子、島裕紀、山岸春治、奥登紀子、医療法人社団「新生会」理事長 新澤章二、服部茂子、星野典子、大江良一、竹内研三、小林昌恵、山口恵子、西田紫乃、高橋聡子、貫牛利一、門脇重子、木村真、近藤明博、中居楓子、森江京子、藤山亜莉沙、山崎寿子、岡田智加、堀まゆみ、西村桂子、三浦恵子、須藤あつこ、角田紀子、中谷香葉子、森田澄子、川分節子、永田素彦、竹本えり子、野村博子、富永初枝、多田和子、大法寺、浅岡仁、松原廣、金子厚雄、田中和子、蘆田知子、宮本由紀、小松宜子、松田一人、窪田直美、瀧野典之、伊藤尚子、田尻町ボランティア連絡会コミュニティサロン部会「チョボラッタ」、安間稔、小坂知代子、野田栄子、山見坂ゆき子、横田啓子、小松崎戴子、谷口喜代子、佐々木ひろ子、森脇浩二、鈴木茂子、岩田たか子、平谷真彦、野口栄一、河村信治、久保田聡、名取八栄子、小川健二、佐伯亜也子、平野民子、山浦誠、瑞慶覧つきえ、安野信行、藤谷啓子、藤谷英奈、樋口歩、吉川あゆみ、川崎啓、鶴田美紀代、中村文子、大江史郎、藤堂治雅、柳原行雄、田中稔、昭田中恵子、市川直樹、山田忠道、山岡熙子、永井香子、河野昌弘、高井千珠、谷淵啓子、木下和寛、2016年塩谷学生会委員会卒業生一同、掛水すみえ、田守美智子、池田秀樹、池田晴美、パセリくらぶ代表江守典子、街頭募金にご協力くださった皆様、高木まつりにご来場の皆様、苗代碧、廣瀬秀子、永井静代、馬場宏、鈴木憲一、齊藤秀子、三好紀昭、宮城久代、竹村よしゑ、忽那須美男、梶昌代、魚島侑子、志賀理恵、西川達夫、山田明子、小林良彦・静子、岡部佳代、大里恵子、島和子、上野由紀子、渥美久栄、今井元子、西栄一、伊藤尚子、藤田直生、北村英夫、池田直樹、戸口京子、山本愛、エルベラン柿田衛二、福田昌代、立石忠雄、田尻町まちづくり、ヨウコウシュウ、カワグチカズヨ、マツナガセイコ、カワダマコ、タロウ、ヤマカワマキ、タチカケトシユキ、イシヅカユウコ、ナギラセイイチ、ヒラオカフサオ、ウエノフミオ、ウエヤマ、フルツカ、マツイハジメ、タニグチカズコ、コニシ、キタダマスオ、ニシヤマリサ、タナカタカヒロ、マツモトキヨコ、ヨシダサカエ、キタオカヨシユキ、マスダアユミ、フジタシンヤ、イバラキヒロミ、クロベリョウコ、モチヅキヒロシ、スガサワアキコ、タシロキョウコ、スミダコウイチ、ワタナベユウコ、ウサミ、ナカイヒロキ、キシモトアヤ、イイヌママリコ、タナカミサ、コタニエイコ、ヨシカワハルヒコ、グッドスナカヤマヨシ、イトウトモヒロ、イシカワ、アリガフミコ、ミフネコウ、ニシザワヒロヨシ、モリワキユリカ

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂、西宮洋菓子研究会、株式会社フェリシモ
(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

「お詫び」

前号(107号)の会員、寄付者、募金者のみなさまで、事務局のミスによりお名前間違えがありました。ここに訂正の上、深くお詫び申し上げますと共に再掲させていただきましたので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

熊本地震から4か月が経過しました。益城町では仮設住宅への入居が進んでいますが、まだ避難所や自宅の軒先で避難されている方々はおられます。仮設住宅でのコミュニティづくりと共に、今後も避難所などで生活が続く方々のことも忘れてはいけないと思います。(H・T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕
〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022
<http://www.nvnad.or.jp/> 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子